



国際情報学院中だより

学校報
No. 6
H28. 7. 20

教育目標「21世紀を自らの判断で生きる人間の育成」

校訓：明朗・礼節・進取・自律

全県水泳 山田大希選手 個人メドレー見事2冠 水泳・陸上・ソフトテニス3競技で東北大会出場権獲得 様々な成果を上げて1学期を終える！

先週末16～18日に行われた全県中学校総合体育大会では、本校から3競技に総勢31名が参加しました。その結果、3競技それぞれに東北大会の出場権を獲得する選手が出る大活躍ぶりでした。水泳部は、山田大希選手（3年）が男子400m・200m個人メドレーで優勝を飾り2冠を達成しました。水田尚紀（2年）、蛇川沙菜（2年）、辻春乃の各選手もそれぞれ2種目で東北大会の出場権を獲得し、併せて男子400mメドレーリレーでも東北大会標準記録を突破しました。また陸上部は、女子共通100mHで小林夏月選手（3年）が見事2位に入り、昨年に引き続き東北大会の出場権を獲得しました。さらには、ソフトテニス部の個人戦女子戦で平泉愛寧（3年）・三浦真矢乃（3年）組が開催地校で東北大会への出場が決まりました。8月の東北大会での活躍に期待しています。

本日で平成28年度の1学期が終了しました。4月の「入学式」など、中高合同の「体育祭」、そして「大北総体」など、多くの行事でKJ生の元気あふれる、はつらつとした姿をたくさんの方々に披露できたと考えております。保護者の皆様、1学期も本校の教育活動にたくさんのご支援、ご協力をいただき、ありがとうございました。それでは、事故のない有意義な夏休みになるようにご協力をお願いいたします。



こども園の園児との交流【3年】7/7(木)

KJ生 7月の活躍

◇平成28年度第65回秋田県中学校総合体育大会 ＜7月16日～18日＞

＜水泳＞ 【県立総合プール】

- ～男子～ 総合6位
- ・200m個人メドレー 1位 山田 大希
*東北大会出場権獲得
 - ・400m個人メドレー 1位 山田 大希
*東北大会出場権獲得
 - ・100mバタフライ 2位 田沢 尚紀
*東北大会出場権獲得
 - ・200mバタフライ 3位 田沢 尚紀
*東北大会出場権獲得
 - ・400mメドレーリレー 7位 渡邊・山田
田沢・長谷部
*東北大会出場権獲得
 - ・200m個人メドレー 6位 渡邊 悠

～女子～

- ・200m自由形 4位 蛇川 沙菜
*東北大会出場権獲得
- ・400m自由形 4位 蛇川 沙菜
*東北大会出場権獲得
- ・100m平泳ぎ 4位 辻 春乃
*東北大会出場権獲得
- ・200m平泳ぎ 4位 辻 春乃
*東北大会出場権獲得
- ・400mリレー 6位 蛇川・長谷部
辻・畠山

＜陸上競技＞

【県立中央公園陸上競技場】

- ～女子～
- ・共通100mH 2位 小林 夏月
*東北大会出場権獲得
 - ・共通4×100mR 5位 菊池・多賀谷
小林・石川
 - ・3年100m 5位 石川百杜巴

＜ソフトテニス＞

【大館市高館テニスコート】

- ～男子個人戦～
- ・1回戦 ●本間・大川 0-4 本多・芦崎
(能代一)
*開催地校により東北大会出場権獲得
- ～女子個人戦～
- ・2回戦 ●平泉・三浦 3-4 港・嵯峨
(能代一)
 - ・1回戦 ○平泉・三浦 4-3 齋藤・石澤
(象 湯)
*開催地校により東北大会出場権獲得

◇全日本吹奏楽コンクール第58回東北地区大会 ＜7月9日＞ 【大館市文化会館】

高校の部 銀賞
※本校は中高合同で編成しています。

◇平成28年度第65回秋田県中学校総合体育大会 大会スローガン

【優秀賞】 金子 千鶴さん（3年）

響け 私たちの旋律 轟かせ 秋田の地から

※ 7月16日の全県ソフトテニス大会の開会式において表彰式が行われました。

第1回指定訪問研究会～授業研究会で成果を披露～

今年度の第1回指定訪問研究会(校内授業研究会)が7月14日に本校で行われました。当日は、国語科(1年1組:佐藤久美子先生)、数学科(1年3組:高橋裕樹・畠山咲子先生)の2教科の研究授業を中学校の全職員で見合いました。2教科とも生徒が主体的に課題解決に取り組み、グループ活動を通して考えたり、表現したりすることをねらいとした授業を展開しました。数学の授業は大館北秋田の算数・数学教育研究会員の先生方も13名が参観しました。高橋先生は、今年度算数・数学教科指導CT(中核教員)として委任されました。10月には北管内の算数・数学担当教員が50名ほど参加して本校で授業研究会が行われることになっています。



1-1 国語:「人を動かす不思議な力」とは?



1-3 英語:棒の本数を図と式を使って求めよう

この研究会は本年度の研究主題「生徒が主体的に学び合い、深め合う授業の創造～アクティブ・ラーニングの視点を取り入れた協働学習の推進～」の下、中高で共通実践としている授業改善の検証をねらいとしたものです。生徒が自分の思いや考えを生き生きと伝えることができるよう、今後もグループ活動による学び合いや表現活動を大切に授業づくりをしていきたいと思っております。

第66回社会を明るくする運動「青少年を非行から守る市民のつどい」 1年秋元健成君が朗読発表!

全国で展開されている「社会を明るくする運動」の一環として、大館市で7月2日(土)に「青少年を非行から守る市民のつどい」が、大館市中央公民館で開催されました。その中で、平成27年度大館地区保護育成委員会が作成している防犯文集【和気】に入選し掲載されました作品の朗読発表が行われ、本校1年の秋元健成君が見事な朗読を発表しました。以下に、作文を掲載します。

身近なところにあるあいさつ 秋元 健成

ぼくは、いつでも、どこでも、元気なあいさつをするように心がけています。それは、ぼくが小学校の時に運営委員を務めていたこととも関係があります。運営委員会が全校の手本となって成章小学校のあいさつを、もっとよくしていきたいと思っていたからです。それに、地域の人とのつながりを大切にしていきたいかったです。ぼくの大好きな十二所地区を、あいさつで元気にしていきたいと思っていました。

ぼくがあいさつについて考えるようになったきっかけは、2年生の時です。前の校長先生が別の学校から成章小学校に来ました。その先生は、あいさつに厳しい先生でした。その頃から、「相手よりも早くあいさつすること」、「声を大きくハキハキとあいさつすること」、そして会釈の仕方を教わり、意識するようになりました。

4年生の時に、学年ごとにあいさつ運動をすることが決まりました。ぼくは、「誰よりも大きな声であいさつする」と決めました。でも、緊張してしまい、全然声を出せませんでした。翌日は、運営委員会があいさつ運動をしていました。そこには、同級生の姿もありました。あいさつをしてみると、運営委員全員があいさつを返してくれました。ぼくは、その姿を見て、もっとあいさつをがんばろうと思いました。その日からすれ違う人に、必ずあいさつをする」という目標を立てました。そして、

あいさつしてみると、あいさつが返ってきたので、うれしいと感じるようになりました。

5年生になり、あいさつ運動をがんばっている運営委員会に入ろうとしましたが、希望者が多くて入れませんでした。でも、そのぶん運営委員よりあいさつをがんばろうと思いました。全校のみんなだけでなく、地域の人や学校の先生にもあいさつすることを心がけました。たまにあいさつを返してくれない人もいましたが、それでもがんばりました。自分で評価する「校長特別賞」では、あいさつの欄に◎をつけました。そして、賞状をもらうことができました。

6年生の時、運営委員会に入ることができました。ぼくは、運営委員会の仕事に積極的に参加しました。もちろん、あいさつ運動もがんばりました。でも、ぼくたちには問題点がありました。それは、中学生や高校生に恥ずかしくてあいさつができないことです。そこで、小中合同あいさつ運動を行うことになりました。運営委員は、中学生に負けなくらい大きな声であいさつ運動を行いました。その成果もあって、中学生や高校生ともあいさつができるようになりました。さらには、自分たちから先にあいさつができるようになりました。中学生とは、これまで以上に仲がよくなったと思います。あいさつとは、言葉だけを交わすものではなく、「気持ちも交わす」ものだということを、今は強く実感しています。



夏休みの行事

7月 21日(木) 夏季休業(～8/21)
23日(土) 通信陸上競技大会～24日
29日(金) 高校体験入学(3年)
8月 3日(水) 東北中学校水泳大会【宮城県】(～5日)
8日(月) 東北中学校陸上大会【秋田市】(～10日)
東北中学校ソフトテニス大会【大館市】(～10日)

*課題点検日
1年生:8月1日(月)
2年生:8月8日(月)
3年生:8月5日(金)
*2学期始業式 8月22日(月)

